

# Relief

リリーフ

2016  
April  
vol.23



特集  
平成28年度公募助成



公益財団法人

JR-West Relief Foundation

JR西日本あんしん社会財団

# 特集 平成28年度公募助成 助成先が決定

平成28年度公募助成の助成先が決定しました。

応募総数142件(活動72件/活動(特別枠)30件/研究40件)のうち合計65件(活動38件/活動(特別枠)13件/研究14件)、助成金総額5,261万円が採択となりました。

平成28年3月25日(金)に執り行われた贈呈式では、贈呈書を手にした皆様からそれぞれの活動・研究にける思いをスピーチいただきました。



## 事故や災害による、心身のケア等に関する活動及び研究

	テーマ	団体・研究者名 (敬称略)
活動	ピア(仲間)サポータースキルアップ連続講座	特定非営利活動法人 遺族支え愛ネット
	グリーンケア	かなしみばすこ
	遺族支援	グリーンサポート大津
	自死遺族サポート	虹玉の会 自死遺族サポート「虹」
	家族や愛する人を失った方々を支える	はすの会
	自死遺族の自責感を和らげる公開シンポジウムと支援冊子の配布	特定非営利活動法人 働く者のメンタルヘルス相談室
特別枠	ふくしまキッズ2016夏 京都美山プログラム	特定非営利活動法人 声生自然学校
	原発事故による避難者の見守りと交流活動	一般社団法人 関西浜通り交流会
	被災地の元気に貢献する、被災地・大阪間の高校生交流事業	がんばろう! つばさネットワーク
	福島原発事故により被災した子どもたち、母親への支援活動	神戸親和女子大学 福祉臨床学科 戸田・深澤ゼミ
	【双葉町応援隊一明日に向かってー】	ゴンターズ高原スポーツ少年団
	東日本大震災により関西に避難する家庭等訪問及び交流会による心のサポート事業	特定非営利活動法人 全日本企業福祉協会
	東日本大震災被災地生活基盤再生のお手伝い活動	たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なます」
	東日本大震災復興支援: 福島県双葉郡楳葉町の高齢者の帰町に伴うこころの支援活動	特定非営利活動法人 伝統みらい
	医療系学生による福島県内での学生災害ボランティア復興支援活動	NARA Will 奈良県立医科大学 学生災害ボランティアグループ
	いのちの大切さ	虹色の音
宮城県南三陸町への継続した支援のとりくみ(海の虹プロジェクト、復興支援餅つきツアー等)	東日本大震災復興支援 京都生協職員ボランティア	
みわのわ 福島県双葉郡子どもサマーキャンプ	みわのわ	
研究	脳損傷者の表情認知と表出の特徴から他者との良好な関係づくりに向けた方略を考える	兵庫医療大学 准教授 佐野 恭子
	東日本大震災の復旧・復興において「平成の大合併」の自治体再編がもたらした影響の検証一住民による政策評価を通じて	滋賀県立大学 准教授 丸山 真央
	言語音がわかりにくい高次脳機能障害者が適した放送音声の工夫	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授 三谷 雅純

## 防災・減災に関する活動及び研究

	テーマ	団体・研究者名 (敬称略)
活動	災害支援緊急搬送ネットワーク	特定非営利活動法人 アザレア掛橋コネクション
	普段から社会的弱者を見守るためのコミュニティ生成型防災事業の実践	生きる力を育む研究会
	災害時要援護者支援活動/稲野町と隣接地域社会と地域教育機関のコラボレーション ステップ2	稲野自治会
	子どもと高齢者の為の防災救命訓練啓発活動~小さな私たちにできること~	特定非営利活動法人 エンゼルネット
	災害時に活動できる人材育成	救援ボランティア左京
	第7回全国学生防災書道展	特定非営利活動法人 健康まちづくり推進協会
	発災時要援護者支援活動	光明地区福祉委員会
	次世代防災研究者連盟	次世代防災研究者連盟
	「聖和防災ふえすた」「聖和ウォーキングパトロール」	聖和寄り合いまちづくり
	災害時における臨時災害FM局開設の為の準備・支援態勢の構築活動	特定非営利活動法人 高槻ブロードキャスト
	ことばの壁を越えて、災害に備えよう! -多言語情報提供セミナーと災害医療通訳研修の開催-	特定非営利活動法人 多言語センターFACIL
	たかつき川キッズ調査隊~川遊び安全マップを作ろう!~	特定非営利活動法人 ノート
	精神障がい者に寄り添った地域防災ガイドブックの作成	社会福祉法人 のぞみ福祉会
	事故、災害等発生時における発達障害児への心理的サポート研修	特定非営利活動法人 発達凸凹サポーターてくてく
	子どもの防災お菓子リュック作り	hahaかふえ
	みんなで作ろう! 防災かまどベンチ	平群町ボランティア連絡協議会
こどもたちの震災をこどもたちに伝え、地域防災に活かす。	望海地区在宅サービスゾーン協議会	
外国籍住民のための防災教育出前授業の実施、並びに「やさしい日本語」勉強会の実施	「やさしい日本語」有志の会	
水害フォーラムキャラバンII	特定非営利活動法人 リスクデザイン研究所	
保育園児などに対する従来にない新しい防災啓発活動と高校生による防災啓発活動をサポート	特定非営利活動法人 和歌山県木質資源開発機構	
どうする?災害時に備えたペットの救護対策~いざ、という時のための「ペットの躰(しつけ)」教室~	和歌山動物愛護推進実行委員会	
研究	校内放送による防災学習プログラムの開発	関西大学 社会安全学部 准教授 近藤 誠司
	防災教育における知的資源としての妖怪伝承の再評価	神戸市立工業高等専門学校 講師 高田 知紀
	消防団の活性化に関する萌芽的研究	関西大学 社会安全学部 准教授 永田 尚三
	スタディーツーリズムの手法を用いた鉄道防災教育プログラムの開発と実証	和歌山大学 地域連携・生涯学習センター 講師 西川 一弘
	雪氷災害及び雪氷複合災害への対策について	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター 主任研究員 古本 尚樹
	被災地ブログ等の共同翻訳を活用した災害文化の国際的発信に関する研究	関西学院大学 災害復興制度研究所 特任准教授 松田 曜子
被災経験からの受援力向上のための実践的研究:「被災地のリレー」への「準備運動」の視点から	立命館大学 准教授 山口 洋典	
<h2>地域社会における安全構築等に関する活動及び研究</h2>		
	テーマ	団体・研究者名 (敬称略)
活動	電話相談員ステップアップ研修	社会福祉法人 京都いのちの電話
	防ごう! 防ぎえた死 さらなる救命率向上を目指して	京都橋大学 救急救命研究会TURF
	平成29年「1.17 阪神淡路大震災からの教訓」	特定非営利活動法人 震災から命を守る会
	慢性期高次脳機能障害者についてのグループ訓練	中丹高次脳機能障害者と家族の会「さくら」
	奈良いのちの電話相談員研修活動	社会福祉法人 奈良いのちの電話協会
	災害救助犬の育成事業	認定NPO法人 日本レスキュー協会
	「はりまいのちの電話」24時間体制への相談員増員に向けての広報活動	社会福祉法人 はりまいのちの電話
	兵庫・生と死を考える会 2016年度 講演会	兵庫・生と死を考える会
	JR福知山線列車事故 被災者支援募金イベント フレンズかわにし2016	フレンズかわにし実行委員会
	「命」の大切さ伝えたい	朗読ういっしゅ
自殺予防のための電話相談員養成	社会福祉法人 和歌山のいのちの電話協会	
特別枠	みんな仲間だっちゃ!! やるぞ学習サポート隊 子ども未来図書館	アジア子ども基金
	研究	大阪女学院大学 専任講師 青木 慶
研究	発災時の共創的問題解決に関する研究	大阪産業大学 工学部 交通機械工学科 教授 大津山 澄明
	災害時や災害後を想定した新機構車椅子の提案	公立大学法人 大阪府立大学 講師 小島 久典
	災害時における障がい者の避難環境と福祉用具に関する研究	公益財団法人 全国市町村研修財団
バイスタンダーによる応急手当推進のための制度論・解釈論の研究	全国市町村国際文化研修所調査研究部長兼教務部長 小西 敦	

# 平成28年度「AED訓練器等の提供」による支援事業提供先が決定

## ●平成28年度公募助成団体 今後のイベント情報

### フレンズかわにし実行委員会

#### フレンズかわにし 2016

**日 時**：4月23日(土) 11:00～18:00  
**場 所**：アステ川西1階 ぴいぷう広場  
**概 要**：JR福知山線列車事故の風化を防ぐため、川西市で音楽ライブやワークショップ、展示等のイベントを開催し、事故の被害にあわれた方々に役立てるため、募金活動を行います。(申込み不要・無料)  
**問合せ**：フレンズかわにし実行委員会  
 MAIL: friendskawanishijikko@yahoo.co.jp  
**H P**：http://friendskawanishi.web.fc2.com/

### 特定非営利活動法人 全日本企業福祉協会

#### ホットとネットおおさか避難者交流会

**日 時**：5月22日(日) 11:00～15:00  
**場 所**：大阪府立大学 I-site 難波会場  
**概 要**：関西に避難されている東日本大震災の被災者同士、支援団体との交流会を、大阪の避難者支援団体の連携により開催します。(大阪市ボランティア市民活動センターへ要事前申込み・定員 200名・無料)  
**問合せ**：特定非営利活動法人 全日本企業福祉協会  
 F A X: 06-7504-5090  
 MAIL: sien@hukushi.or.jp

### 虹色の音

#### 天までとどけ 広島豪雨土砂災害支援

**日 時**：7月30日(土) 14:00～16:00  
**場 所**：安佐北区民文化センター(広島市)  
**概 要**：平成26年8月20日に発生した広島土砂災害の被災地復興と被災者を支援するための音楽ライブや講演を行います。(申込み不要・無料)  
**問合せ**：虹色の音  
 T E L: 090-4905-0401  
 F A X: 0797-87-3340  
 MAIL: nijironooto@gmail.com

### 特定非営利活動法人 芦生自然学校

#### ふくしまキッズ 2016 夏 京都美山プログラム

**日 時**：7月31日(日)～8月6日(土) ※予定  
**場 所**：京都府南丹市美山町  
**概 要**：自給自足的な生活を基本とした7泊8日の山村体験プログラムを実施します。日替わりで、ラフティングやツリークライミングなどのアウトドア体験も行います。(福島県在住の小学3年生～中学3年生のみの参加受付)  
**問合せ**：特定非営利活動法人 芦生自然学校  
 T E L: 0771-77-0588 MAIL: office@ashiu.org  
**H P**：http://ashiu.org

## ●平成27年度公募助成団体の活動紹介

### 特定非営利活動法人 健康まちづくり推進協会 『第6回全国学生防災書道展』

災害への教訓や啓発を目的とし、小中高生を対象とした防災書道展が2/5(金)～7(日)の3日間開催されました。展示総数は954点で、第6回目となる今回は、インドネシアからも作品が寄せられるなど、国内外から高い関心を集めていました。



### 特定非営利活動法人 高槻ブロードキャスト 『災害時における臨時災害放送局開設のための準備・支援態勢の構築活動』

3/5(土)に開催された京都市中京区の総合防災訓練において、地域のFM局と協働し、実際の電波を使用した、災害時の放送支援のための模擬訓練を実施しました。休日の地下街ということもあり、多くの利用者が関心を寄せていました。



### はすの会 『講演会』

家族や愛する人を失った方を対象に、悲嘆に関するケアについて理解を深めてもらうことを目的とした、有識者を招いた講演会と、分かち合いの会を開催しました。約70名の方々が参加され、熱心に聴講されていました。



### がんばろう! つばさネットワーク 『被災地の元気に貢献する、被災地・大阪間の高校生交流事業』

東日本大震災被災地の高校生を大阪に招待し、甲子園での野球観戦や、地域の民家に分かれてホームステイを行いました。また、北摂つばさ高校が主催する野球の練習試合を行うなど、相互交流を深めています。



事故、災害に対する備えや不測の事態に対応すべく「安全で安心できる社会」の実現に向けて、AED訓練器等を用いて応急手当の訓練等を実施して救命処置の普及活動を行う団体を広く募集しました。その結果、13件(提供希望数43セット)のご応募をいただきました。

ご応募いただいた全ての案件について、当財団の審査委員会において厳正な審査を実施し、意欲ある団体が多かったことから、募集時に予定していた提供予定数16セットを上回る8件19セットの提供を行うことを決定しました。

団体名	提供数
117KOBEBおうさいマスター育成会議	2セット
大阪市立墨江丘中学校	3セット
北区救急ボランティア	1セット
けやき台自治会	2セット
神戸常盤大学	3セット
西宮市甲子園二・三番町自治会 防犯・防災部 西宮応急手当グループ	3セット
社会福祉法人 白寿会	2セット
学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校	3セット
合計8団体	19セット

(敬称略・五十音順)

採択となった団体には、AED訓練器及び訓練用人形が提供され、平成28年4月1日から平成31年3月31日までの3年間は、普及活動の実績を報告していただきます。

この活動によって、より多くの方々に救命処置を学んでいただき、一歩踏み出す勇気と知識を身につけ、1人でも多くのかけがえのない命を救える一助になればと願っています。

## AED訓練器等の提供を受けて

西宮応急手当グループ 代表 宇津江 信夫 さん



このたびはご提供いただきましてありがとうございます。手元に器具があることで、これまでのように消防署に出向いて借用をお願いする手間が省けますし、応急手当普及員さえいれば、いつでも、どこでも、何人の講習でも臨機応変に対応することができます。

今まで以上に救命処置の必要性をアピールして、一人でも多くの方に普及できるよう、真新しい器具で気持ち新たに頑張っていきたいと思っています。

平成28年1月29日から3月4日までの毎週金曜日、第10回連続講座を開催しました。

「遺族ケア・グリーフケア」というサブタイトルで、6名の講師にご講演いただきました。2月12日の坂口講師の講演を紹介いたします。



## グリーフケアのその先へ ～癒しきれぬ悲しみとともに～

### そもそも、グリーフケアって何だろう？

よく死別の悲しみといいますが、悲しみ以外にもさまざまなことを経験します。英語でこれをグリーフといいます。このグリーフという言葉は、怒りや罪悪感、不安や恐怖といったいろいろな反応の総称として使われます。身体の反応としては、食欲がなくなったり、夜眠れないということがみられます。こういったものは、いずれもグリーフなのです。大切な人が亡くなったわけですから、何らかの反応があって当然で、グリーフは決して病気ではありません。しかし一方で、病気につながるリスクがあります。

グリーフケアは、このリスクを少しでも小さくするとともに、その後の生活の立て直しや新たな人生への再出発の後押しをするという意味で、大切な役割があると考えます。そして、グリーフケアは誰もができる立場にあると私は考えています。

### グリーフケアとして何をすればいいのか？

私が一番大切だと思うのは、相手の思いを尊重するということです。これが全ての前提になります。しかし、この思いを尊重するというのは意外に難しくもあります。これは私自身のことですが、知識や経験が増えるほど、わかった気になってしまいます。しかし、死別体験はきわめて個人的で、本当の深い部分というのは、その人にしかわからないのではないかと思います。ですから、まずはわからない

なりに、その人の思いにどこまで近づけるのか、お話を聞かせていただくのか、そこが出発点だと思っています。

また、遺族にとっては気にかけてくれる人がいるというだけでも支えになります。例えば、夫をがんで亡くした60代の女性ですが、「ホスピスの看護師さんが、夫の死後1年経った今でも、主人のことを忘れずに便りをくださるのがとても嬉しく思いました」と話されました。

### グリーフケアの目標はどこにあるのか？

悲しみは時間とともに変化をしていきます。全体の傾向としては小さくなっていくかもしれませんが、記念日反応としてみられるように、突然よみがえることもあります。では、グリーフケアは、一体どこを目標にしたらいいのでしょうか？ 死別体験というのは決して消えることはないし、悲しみもゼロにはならないかもしれません。その悲しみ、苦しみや、辛さと、どういうふう折り合いをつけていくか。皆さん悲しみを抱えて生きておられるわけです。この生きるという部分には、生きるという面と生活をするという面がありますが、その「生」を悲しみも含めてどう支えていくのかということが大切なのではないかと考えています。

### 「愛(かな)しみ」とともに

このタイトルは「愛」という字を使っていますが、古語ではこの愛という字を使って「かなしみ」と読ませていました。平仮名で書いた「かなしみ」とは、元々の意味は何かというと、感情が痛切に迫って心が強く打たれるさまを「かなしみ」と呼んでいました。大

## ～遺族ケア・グリーフケア～

切な人を失い、感情が胸に迫って言葉も出ない、涙も出ないということと、自分の大好きな人が目の前にいて、顔を真っ赤にして言葉が出ないというのは、ある意味同じような状態だというのが出発点なのです。つまり語源的に悲しみというのは、この愛おしさで根っこは同じではないかと思っています。

悲しみのない人生を選ぼうと思えば選べます。どうすればいいかということ、愛おしいと思う人をつくらないということです。つまり自分にとって大切な人が一人もない、そういった人生を送れば悲しむことはないのです。誰かが亡くなって悲しむというのは、それだけの人間のつながりがそこにあったことの証だと思えます。ですから、たしかに悲しみというのは一生あるかもしれないが、あわせてこの愛おしさと一緒に生きていくことが大切であると思っています。

### 故人は「生きている」

そして、悲しみが消えないということと同時に、故人の存在も消えないと思っています。心の中で生きている、天国から見守ってくれている、あるいはお墓に眠っているというのは、全て故人はいまだ存在しているということです。

故人との関係について、あるアメリカの哲学者は「絆を断ち切る必要はない」と言っています。私もそうだと思います。ただ、そこに肉体的には存在していない。今の自分にとって故人はどういう存在なのか、それをあらためて捉え直し、自分の人生の糧に、力にしていくことが大切だと考えます。

死別という体験はきわめて受け身な体験ですが、死別という出来事をどう受けとめるかは、自分で選ぶことができます。つまり、死というものをどう受けとめ、悲しみをどう抱えて、どういう生き方をしていくのか、それは一人ひとりに委ねられていると思います。



# 平成28年度(4～8月開催)救急イベントのお知らせ

毎年多くの方々にご参加いただいている『救急フェア』と『駅で体験AED』を、平成28年度も引き続き開催いたします!“もしも”の事態においての救急救命処置の大切さは、各地域や学校、企業、関係団体での講習会など、熱心な取り組みによって広く知られてきています。知っていれば必ず役に立つ! そんな救命処置のことを知るきっかけとして、お近くの駅やお出かけ先の駅での救急イベントにぜひご参加ください!

## ■救急フェア

開催日	開催時間	開催駅	開催場所
5月21日(土)	10:30～13:00	奈良駅	東口駅前広場
5月28日(土)	13:00～15:30	高槻駅	駅前アクトアモーレ アクトドーム
6月11日(土)	13:00～15:30	和歌山駅	コンコース
6月18日(土)	13:00～15:30	岡山駅	東口駅前広場
7月2日(土)	10:30～13:00	尼崎駅	コンコース

## ■駅で体験AED

開催日	開催時間	開催駅	開催場所
4月9日(土)	13:00～14:30	茨木駅	自由通路
5月9日(月)	13:00～14:30	大阪駅	3階連絡橋
6月9日(木)	13:00～14:30	神戸駅	中央コンコース
7月9日(土)	13:00～14:30	三ノ宮駅	中央コンコース
8月9日(火)	13:00～14:30	住道駅	自由通路

\*会場や天候の都合により、スケジュールが変更になる場合があります。直前の情報は当財団のホームページでご案内しますので、ご確認ください。

\*9月以降も開催する予定です。決定次第、ホームページ等でお知らせします。

## 第11回連続講座「いのち」を考える～体験から生まれた叡智と生き方～

① 4月28日	養老 孟司	東京大学名誉教授
② 5月12日	鳥越 俊太郎	ニュースの職人
③ 5月19日	藤田 和子	NPO 法人若年性認知症問題にとりくむ会・クローバー副理事長 日本認知症ワーキンググループ共同代表
④ 5月26日	大前 光市	プロダンサー
⑤ 6月2日	広野 ゆい	NPO 法人 DDAC (発達障害をもつ大人の会) 代表
⑥ 6月9日	倉田 めば	薬物依存リハビリテーション・センター 大阪ダルクディレクター

\*本講座の募集は終了しております。

(敬称略)

### 編集後記

平成28年度の公募助成先が決定いたしました。贈呈式にお集まりいただいた皆様のお話を伺っていると、それぞれの活動・研究にかけける強い思いや信念に、毎年大きなエネルギーをいただいているように感じます。そのエネルギーがより広く大きく、多くの方々に届くよう、この1年間の取り組みを全力で応援させていただきたいと思っております。

(くろ)

〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目4番24号  
TEL: 06-6375-3202 FAX: 06-6375-3229  
E-mail: info@jrw-relief-f.or.jp  
URL: http://jrw-relief-f.or.jp/